

寵臣(チョウシン) 寵は天子に信頼されて

いる臣の家のこと。部下を愛する意に  
使う。寵臣はお気に入りの部下。

彫塑(チョウソ) 彫刻と塑像(この項参照)。

彫は木や石や金属をほること。

暢達(チョウタツ) のびのびしていること。

超脱(チョウダツ) 俗事から高い境地へ抜  
け出ること。

打擲(チョウチャク) 擲はなぐる。打ったりな

ぐったりすること。

掉尾(チョウビ) 掉は手を高く振り上げること。

尾を振ることから、物事の終わりに至  
って勢いをふるうことを言う。また、“最  
後”の意に用いる。“トウビ”は慣用読  
み。例 掉尾を飾る

重複(チョウフク) 同じ物事が二度以上重な  
ること。“ジュウフク”とも読む。

澄明(チョウメイ) 水の澄むのが本義だが、  
空気の澄み切っているのにも使う。

聴聞(チョウモン) 聴は聞こうとして聞く。聞

は耳からはいってくること。広く“人の  
話を聞く”という意味。

凋落(チョウラク) 凋は寒気( )が<sup>あまね</sup>周く至

って草木のしぼむこと。花がしぼみ落  
ちるように、勢力の衰えることを言う。

直截(チョクセツ) 直ちに切るの意。ためら

うことなく決裁すること。また、回りくど  
くない意に使う。“チョクサイ”は載と  
の類似から起こった慣用読み。例  
直截簡明

直轄(チョッカツ) 直接に管轄すること。

椿事(チンジ)

椿は<sup>チン</sup>珍の意で、珍事。めったに起こら  
ないような、たいへんなできごとを言う。

椿は、わが国では春に先がけて花を  
咲かせる常緑樹の“つばき”の木のこと

だが、中国では、センダン科の落葉樹  
である。ところで、莊子という本に出てく

る椿<sup>チン</sup>という木はまことに珍木である。「八  
千歳をもって春となし、八千歳をもって

秋となす」と言うから、気の遠くなるような  
話である。いかにも中国らしい話ではな

いか。

鎮守(チンジユ) 鎮は金属で作った重し。

“文鎮”のように紙が散らないための  
押えとするところから、“静め治める”  
ことを表わす。その土地を静め治め、  
住民を守ること。また、そのための神。  
また、神社。